

料金後納郵便

ゆうメール

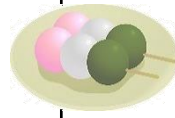
このハガキは当店とご縁をいただいた方にお送りしています。ご不用の方はご面倒ですがご一報下さい。スグ停止します。

デカはがき通信

今日はこんなお言葉をいただきました。

アツいのお茶 おいしくほめられと スグ、けでしようのっせ

佐藤様(金ヶ崎)ありがとうございました。



スガワラ家の
「行き当たりばった旅」

先日の定休日、伸びずぎた庭のヒバを横目に出かけてしましました。(罪悪感) 目指すは民話の里、遠野。遅く出たので取りあえず腹ごしらえです。遠野と言えばジンギスカン!盛岡のF様イチオシの店へ。あれ、閉店してる!繁盛してたのに残念!となれば元祖ジンギスカンの店「あんべ」へ。並ぶこと三十分。煙たなびく室内でラム肉二人前に挑みました。お肉柔らかでタレもおいしい。どんぶり飯、ベロツと食べちゃいました。次は流鏑馬で有名な遠野八幡宮にある「猫神社」へ。広い八幡宮の境内を探しますが「どこだ、どこだ?」入口近くに「ひっそりと鎮座。その後、あんべ光俊の歌に出てくる「福泉寺」。山道をひたすら登り、どっかいアミダ様を拜んで「朱印をいただく。境内を見ればタイ人とおぼしき御一行がにぎやかに記念写真を撮っている。タイの方は信仰が厚いと聞いていますが、ここまで来るとはビックリ。さらに伝承園の南部曲り家で昔話を聞き「オシラサマ」を見学。あ?ナンタラ忙しい一日だ。



①「おぼしき、おぼしき、あつたずもなし」おぼあちゃんの声にのっけられて部屋に入った。CDからの声だった。



②大きな阿彌陀様がおぼす福泉寺の本堂。朱印を頂きました。



③菴宮城みたいな福泉寺入口。きれいな乙姫様はいねがった。



④「ひっそりと佇む猫神社。他県ナンバーの車も来ていました。」



⑤お腹いっぱいいただきました。

四〇年前の選択

菅原園の限定新茶を作っていたのは、静岡で四代続く茶農家、若林さんです。若林さんは今から四十三年前、関東の大学を卒業後、横浜の貿易会社に就職しました。仕事のやりがい、燃え、都会の生活を満喫していましたが、父のたつての願いで帰郷したのでした。しかし、仕事をすればするほど、

茶農家が嫌で嫌でしようがなかった! 都会でのスマートなサラリーマン生活を捨て、朝から晩まで埃だらけになっての農作業と製茶作業。かつての同僚が楽しく青春を謳歌している(ように感じた)姿に比べ、自分がじめに思えて仕事に身が入りません。当然、父とは衝突ばかり。何度モ家を出ようと思う毎日でした。そんな、ある日、父宛のハガキが届き、何気なく読んでしまったのです。それは茶問屋さんからの手紙でした。そこには父の茶作りに対する姿勢に感銘した。そして父が作ったお茶を飲んだお客様からおほめと感謝の言葉をいただいた事が小さな字でビッシリと綴られていたのです。若林さんの胸の奥に熱いものがこみ上げてきました。若林さんはいつしか、父を茶作りの師匠として仰ぎ、率先して仕事に励むようになり、幸先して仕事に励み、今では品評会入賞の常連でもあり、若手茶農家を指導する立場となっています。若林さんの茶作りの信条は「自然に忠実に」です。土や茶樹にできるだけストレスを与えないよう、独自に工夫した施肥や栽培法を実践する毎日。「茶作りは天職だよ」と恥ずかしくそうに笑う若林さんでした。

◎若林さんが作った「限定新茶」を飲んでみたい方は裏面をご覧ください。

お待ちしております

お茶の菅原園

〒023-1103 江刺区西大通り3-11
営業時間 AM9:30 からPM6:30
定休日 第1・第3日曜日

電話 0197-35-1521



菅原園のHPです。ぜひご覧ください。



裏面もご覧ください →

